



白い森小国から

今年は全国的に記録的な大雪に見舞われ、特に首都圏を中心に雪に不慣れな地域では交通手段が完全に遮断された。その点、豪雪地帯に住む我々は雪に強い。雪対策は万全だが、意外な弱点があった。それは新鮮な空気や水で育った体なので、菌に弱いこと…。毎冬、インフルエンザに見舞われるのだが、今年は特に大惨事となったのだ。

文／今 修 写真／K-PRODUCTS

k-pro 整備部が創業初の大ピンチ！

年が明けたかと思いきや、もう3月！毎年この時期は車やパーツの展示会が多く、国内は勿論のこと、海外のモーターショーなどで意外に忙しい時期だ。そして恒例の除雪作業…。よく「雪が降ったから雪かきしなきゃ〜」なんて言葉を聞くが、小国町では「雪かき」と言う人はいない。「雪掘り」と言うのだ。

あまり雪が降らない関東圏では、10cmの積雪でも大騒ぎになるが、雪国育ちの人々にとってその程度の雪は可愛いモノ。なんせ雪を掘って処理しなきゃならないほど、毎日雪が降るのだから。掘っても掘っても次から次へと降る、とても重労働だし気持ちの折れる作業である。おっと、話を元に戻そう。

モーターショーに関しては、1月に東京オートサロン、2月に大阪オートメッセ、3月にソウルモーターショー、そして最近は日本人だらけとなった台湾の AMPA と毎月のように車関係の展示会がある。何でこの時期に集中するのか？ 3月、4月ならいいが1月、2月はなるべく人混みには行

きたくない！ 何故なら、この時期はモーターショーだけではなく、伝染病のインフルエンザも大盛り上がりだからである。

人口約 8,000 人、見晴らす限り田んぼと畑と山に囲まれ「タイヤとズボン」は絶対太い方が良い！」と信じきって育った俺の体は、いわば無農薬野菜状態で、菌に対しては弱い。だから特に来場者が多い東京オートサロンに行くと言っているほどお持ち帰りする。キャンギャルでもお持ち帰り出来れば望むところだが、インフルではお断りしたいものである。



大阪オートメッセ 2014 に k-pro のデモカーであり、オレのレースマシン JB23 を展示した。可愛いキャンギャルのお陰もあって、注目度は上々！

ここ毎年インフルにやられっぱなし状態だったので、昨年の東京オートサロンは完全防備で参戦した。まずは基本中の基本「マスク」をかけて首からは空間除菌剤をブラ下げ、携帯除菌剤と空気除菌剤を振りまいて歩いていた。マスクは1時間置きに交換しトイレに行ったら手洗いは念入りに、ついでにウガイもやり車に戻って来たら空気除菌用スプレーを体にふりかけた。そんな完全防備が功を奏して、昨年の東京オートサロンではインフルのお持ち帰りは無かった。

ところが、その勝利で気がゆるんだ訳ではないが、今年はマスクも空間除菌剤もすっかりと忘れていた。「インフル？ そんなの大丈夫だろう〜」俺はそんなもんには負けね〜よって感じ。チヒロとフナッシーとヤスと俺の4人で一昨年までの事



軽自動車でも、その存在感は隣の D1 マシンに負けていない！



会場は連日大賑わい！ こんなイベントを小国で開催したいな〜。



JCJ 東日本支部のミーティング（新年会）を1月に開催。今年も思い切り遊ぶぞ！



整備部は全員がインフルエンザでダウンしたため、一週間ほど開店休業となった。



名誉か、不名誉か？ オレは小国初の B 型インフルに感染。やはり健康が一番だな！

もすっかり忘れて無防備状態で東京オートサロンへ行ったところ…。

一泊二日のオートサロン見学を無事に終え、大雪が降る小国町へ帰って来たのは朝方の3時。少し寝てまたいつものごとく朝の除雪作業から始まる日々を迎えた。そして二日後に JCJ 東日本支部の新年会を開催したのだが、その夜から「倍返し」が始まった。まずはフナッシーとチヒロがホテルで発熱。翌朝病院で検査したら、A 型インフルエンザだと判明した。チーン！

インフルには超敏感な k-pro では大騒ぎである。俺とヤスはテンションペロ下がり状態。いつ自分が発病するかビクビク状態となった。が、しかし、俺とヤスは何の兆候も無く、全然関係のない工場長の渡部がその二日後に発熱。病院で検査したら、これまた A 型インフルエンザと判明。チーン！

これで整備部3人がインフルにやられ、k-pro 整備部は約1週間休業状態と、創業以来の出来事となった。そしてインフルは JCJ 新宴会に参加していた親父達にも…。最後のインフルとの戦いを終えて出社したのは工場長の渡部で、なんと1週間以上も苦しんでいたのだ。

もう大丈夫だろう！ と安心していたら、4〜5日後さらなる悲劇が待ち受けていた。いつもと変わらない朝の除雪作業をやっていると、渡部の顔色がブルーメタリック状態。「ど〜した大丈夫か？ 何か拾い食いでもしたか？ それとも安いデリ○○嬢でも食したか？」という俺の問いかけにもノ〜リアクション。すると突然トイレにかけ込み、上から下への源泉かけ流しが始まったのだ。すぐに病院で検査したところ、ウイルス性胃腸炎と判明。チーン！

「何事にも妥協しない」という k-pro の理念は、ここで悪い方に傾いた？ その数日後、朝起きると何かやる気がでない。いよいよ俺の番か？ ちょっと頭が痛い、腹も痛い、体がだるい…。拾い食いも安いデリ○○嬢も食した覚えは無いし、心当たりがあるとすれば更年期障害？ そろそろ命の母 A の力を借りなければならなかったか？ でも命の母 A って男にも効くのか？

とにかく病院で検査したところ、インフルエンザと判明！ しかも地元では初の B 型だという。「よっしゃ〜地元では初だぜ！」って喜んでいる場合ではないが、初って言葉には反応してしまった(笑)。このように、病気の感染を甘く見たお陰で2月上旬までインフル&胃腸炎に滅多クソやられ盛り上がりしてしまったのである。

レースカーやレンタカーなどの車両作りもこの季節だが、去年は3戦しかレースに参戦できなかったから、車両のダメージが少ない(嬉しいような、悲しいような…)。しかし3戦しか出場してないとはいえ耐久レースだ。短くて1時間半、長ければ6時間もほぼ全速で走り続けるのだから、普通では考えられないぐらい車両に負担がかかる。さらに改造箇所が増えれば増えるほど、車が壊れるリスクも高くなるのが現実だ。どこかを強くすれば、その分どこかに負担がかかるのである。だから日頃のメンテナンス、車両のチェックは必要で、これで十分だということは決していない。レースで一番悔しい思いをするのは負けた時ではなく、トラブルで途中リタイアした時だ！

最近のジムニー耐久レースで 660cc の車両はメッチャ少なくなってきていて、ほとんどが 1,300cc ~ 1,500cc エンジンに積み替えられている。自分のレース車両も

740cc にボアアップしているが、やはり全体的なトルクは排気量の大きい車両にはかなわない。しかし、排気量の大きいエンジンを積んだからと言って良いことばかりではない。重量のあるエンジンを積む事によりフロントがヘビーになるのはもちろんだが、元々の重量バランスを大きく変えるので、各部の強化が難題となる。自分は今後も三気筒ストックエンジンの改良にこだわりつつ、大きい排気量エンジンの車両と絡み合いが出来たらと思っている。

そんな感じで競い合うのは楽しいが、一番の楽しみはジムニーを通じて色々な人間と知り合えることだ。昨年から JCJ 東日本支部が発足し、今年第一回目のイベント「新年会」が1月に開催された。昨年の夏頃に支部会議があり、2014 年の新年会の日取りまで決めただけ、なんせ数ヶ月前のこと、すでに俺も含め東日本支部事務局の人間までもが忘れていた。

そして1月に入ってから急に思い出し慌ててみんなに連絡。多分みんなも忘れていて予定を入れてしまっていると思いきや、ほぼ全員で 2014 年 JCJ 東日本支部の新年会が行えた。JCJ (ジムニークラブ オブ・ジャパン) はジムニーが好きなら誰でも入会できるクラブだ。レース志向から絶対にオフは走らないという人までいる。そして職業も不動産業、ビルメンテナンス、保育士、林業まで実に様々。だからこういった集まりがあると、普段聞けない話を沢山聞けるので面白い。ましてお酒なんかが入ると、その人の性格とかも出て笑えばなしである

今年も 10 月 25 日 ~ 26 日と静岡県磐田市でジムニーカーニバルが行われる予定だ！ とにかく 2014 年もジムニーの仲間達と泣いたり笑ったり、熱出したり？ 泥だらけになってジムニーで熱く盛り上がりて行くぞ！ なお JCJ 東日本支部ではジムニーと一緒に遊べる仲間を募集している。詳しくは k-products 内 JCJ 東日本支部事務局まで！

TEL 0238-62-4901 担当：伊藤